

2015年3月期 第2四半期決算説明資料

ジオマテック株式会社

2014.11

第2四半期業績結果について

連結業績概要 (14年4月1日～14年9月30日)

	2014.9	2013.9	対前年	
			増減額	(増減率)
売上高 (百万円)	5,721	5,160	561	(10.9%)
営業利益 (百万円)	465	608	△ 142	(△ 23.4%)
経常利益 (百万円)	522	620	△ 97	(△ 15.7%)
四半期純利益 (百万円)	502	593	△ 90	(△ 15.3%)
1株当たり純利益 (円)	63.52	73.44	△ 9.92	(△ 13.5%)
加工高 (百万円)	4,569	4,417	152	(3.4%)

(*)加工高とは、売上高から基板材料費と外注加工費を引いた、成膜分の売上(付加価値収入)のことです。
尚、加工高は、当社の管理数値として使用しているもので会計数字とは必ずしも一致しません。

財務概要

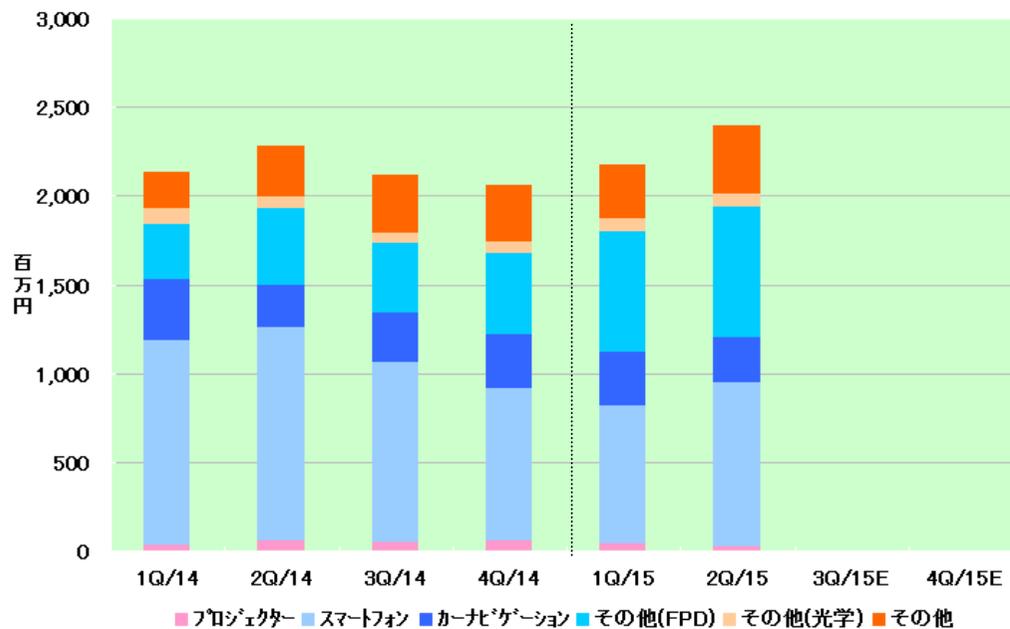
	2014.9	2014.3	前期末比較	
			増減額	(増減率)
総資産 (百万円)	35,085	29,568	5,517	(18.7%)
純資産 (百万円)	18,665	18,079	586	(3.2%)
自己資本比率 (%)	53.2	61.1	△ 7.9	
1株当たり純資産 (円)	2,359.63	2,285.51	74.12	(3.2%)

キャッシュフロー概要

	2014.9	2013.9	前年同期比較	
			増減額	(増減率)
営業活動によるCF (百万円)	503	1,113	△ 609	(△ 54.8%)
投資活動によるCF (百万円)	△ 669	△ 397	272	(68.5%)
財務活動によるCF (百万円)	△ 608	△ 1,105	△ 496	(△ 45.0%)
現金及び同等物残高 (百万円)	8,853	8,389	463	(5.5%)
(同借入金相殺後) (百万円)	6,308	6,061	247	(4.1%)
設備投資額 (百万円)	258	497	△ 239	(△ 48.1%)
減価償却費 (百万円)	521	414	107	(25.8%)

加工高推移

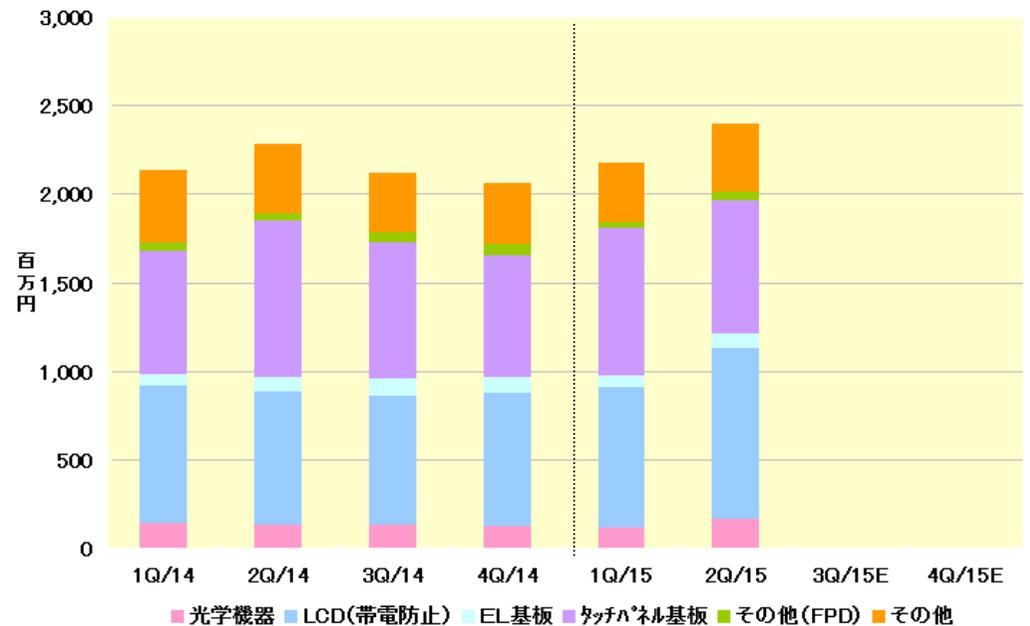
最終製品別加工高推移



← 14.03期実績 →

← 15.03期実績 →

品目別加工高推移



← 14.03期実績 →

← 15.03期実績 →

※加工高とは売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた成膜分の売上(付加価値収入)のことです。

第2四半期(累計)業績概況

■ 連結業績概要

- ・中小型FPD製品向け、新規設備の効果により販売数量は増加
- ・売上高は、販売数量が増加したことや、基板材料を当社で調達する製品及び外注加工を必要とする製品が増加したことから10.9%増加
- ・但し、基板材料、外注加工要因を除いた実質的な加工賃収入は3.4%増加
- ・損益は、前年同期好調だった中国子会社が低調に推移したことなどから減益

■ 製品概要

- ・液晶パネル用基板(帯電防止膜)・・・スマートフォン・タブレット端末向けで安定的に推移(14.3%増)
- ・タッチパネル用基板(抵抗方式)・・・カーナビゲーション向けで安定的に推移(16.4%増)
- ・タッチパネル用基板(静電容量方式)・・・スマートフォン向けは減少、ポータブルゲーム機向け増加(6.8%減)
- ・有機EL用基板・・・携帯電話(サブディスプレイ)、照明機器用途で安定的に推移(3.9%増)
- ・光学機器用部品・・・金属反射膜や反射防止膜向けが増加(5.2%増)
- ・その他・・・スマートフォン向け加飾膜が大幅に減少(9.8%減)

2015年3月期業績見通しについて

市場環境について

競争環境における機会

- 新興国におけるスマホの高成長
- 中小型ディスプレイの大型化と高精細化
- 車載向けディスプレイへの需要
- タッチパネルのIn-Cell・On-Cell化、高精細化
- ノートPCからタブレットPCへの置き換わり

競争環境における脅威

- 先進国におけるスマホ需要の減速
- 新興国向けローエンドモデル比率の増加
- 海外液晶・タッチパネルメーカーの低価格攻勢
- スマホと小型タブレットのカニバリゼーション
- パネルメーカーの成膜加工内製化

低価格対応の為の原価低減と高精細パネル向け薄膜による差別化が鍵

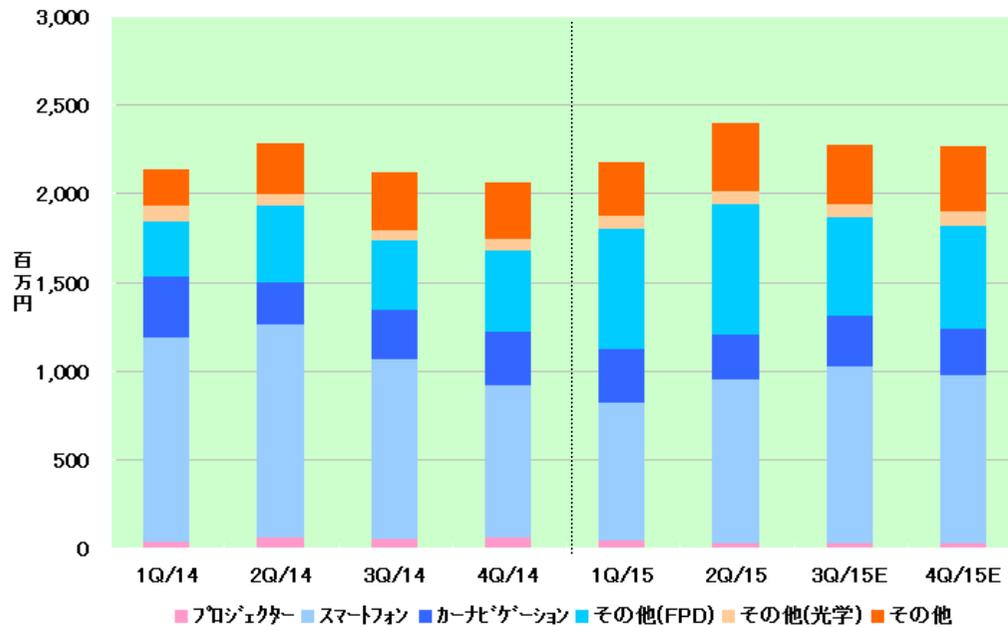
2015年3月期業績見通し

	2015.3	2014.3	前年同期比較	
			増減額	(増減率)
売上高 (百万円)	11,200	10,347	853	(8.2%)
営業利益 (百万円)	1,100	995	105	(10.6%)
経常利益 (百万円)	1,120	1,017	103	(10.1%)
純利益 (百万円)	1,000	979	21	(2.1%)

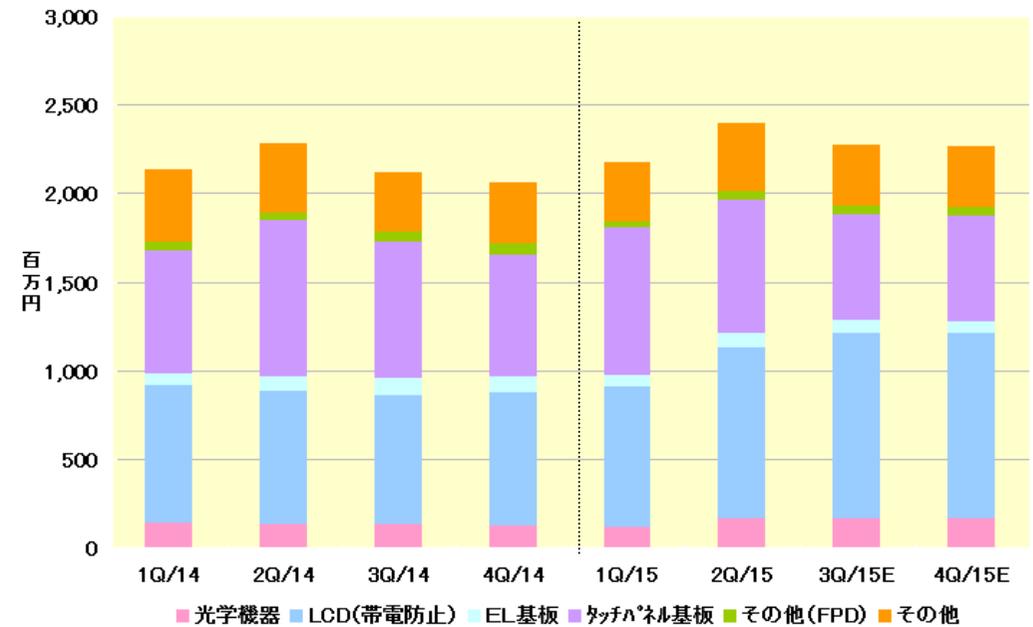
加工高 (百万円)	9,100	8,594	506	(5.9%)
研究開発費 (百万円)	500	481	19	(4.0%)
設備投資額 (百万円)	1,000	1,339	△ 339	(△ 25.3%)
減価償却費 (百万円)	1,100	974	126	(12.9%)

加工高見通し

最終製品別加工高推移



品目別加工高推移



← 14.03期 実績 →

← 15.03期 見込み →

← 14.03期 実績 →

← 15.03期 見込み →

※加工高とは売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた成膜分の売上(付加価値収入)のことです。

取り組みについて

■ 既存分野への取り組み

- IPS液晶用帯電防止膜の増産対応とコスト競争力の強化
- IPS液晶用帯電防止膜の高透過膜対応
- In-Cell・On-Cell型静電容量タッチパネルの低抵抗対応
- Film静電容量タッチパネル向け受注強化
- マスクブランクス向け受注強化

■ 新規分野への取り組み

- 試作・小ロット品の生産体制改造と生産性の向上
- 新市場(医療・車載・防犯分野)への成膜製品展開

ご清聴いただき、ありがとうございました

注意事項

- ・ 情報提供の目的

当資料の目的は、当社への理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。なお、掲載されている情報は、細心の注意を払って作成しておりますが、掲載されている情報には不測の誤りがある可能性があります。当資料のご利用により、被害・損害が発生したとしても、当社は一切責任を負うものでないことをあらかじめご了承ください。

- ・ 将来予測に関する考え方

当資料に掲載されている情報には、当社の計画、予測など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらは、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断および仮定に基づくものであり、既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、当社の業績、事業活動、財務状況は、見通しと大きく異なる場合があります。